

LAN ドライバ(R148.EXE)アップデート手順書

1. はじめに

本書では、本体標準装備のネットワークアダプタおよび Intel 社製増設 LAN ボードを対象とした LAN ドライバのアップデート方法について説明しています。

アップデートに関する注意事項を「7 注意事項」に記載してありますので、アップデート前にお読みください。

本書内での「LAN ドライバ」という表記は、Intel® PROSet とコントローラドライバの総称です。

1.1. 対象 OS

本書の適用範囲は下記の通りです。

<対象 OS の製品名と省略形式>

省略形式	対象 OS の製品名
Windows Server 2003 32-Bit	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise Edition Service Pack 2 以降
Windows Server 2003 64-Bit	Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Standard x64 Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003, Enterprise x64 Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Standard x64 Edition Service Pack 2 以降 Microsoft(R) Windows Server(R) 2003 R2, Enterprise x64 Edition Service Pack 2 以降
Windows Server 2008 32-Bit	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 32-Bit Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 32-Bit
Windows Server 2008 64-Bit	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 64-Bit Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 64-Bit
Windows Server 2008 R2	Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Standard 64-Bit Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 Enterprise 64-Bit

1.2. 商標について

Microsoft、Windows Server は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel は米国 Intel Corporation の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

1.3. LANドライバのバージョン確認

本項では、LANドライバのバージョン確認方法について説明します。以下の手順を参照し、LANドライバのバージョンを確認してください。

手順 4) および 5) に記載されているバージョンにおいていずれかが異なる場合は、「1.5 LANドライバアップデートの流れ」を参照してアップデートしてください。

- 1) [デバイスマネージャ]を起動します。
 - Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されるので、[デバイスマネージャ] を選択します。
 - Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。
- 2) [ネットワークアダプタ] 配下にあるネットワークアダプタをダブルクリックして [プロパティ] を開きます。
- 3) [ドライバ] タブの「**ドライバの詳細**」をクリックし、[ドライバファイルの詳細] を開きます。
- 4) [ドライバファイルの詳細] 内の対象コントローラドライバのバージョンを確認します。
「標準装備のネットワークアダプタ」のバージョンは、必ず確認してください。
「Intel 社製 LAN ボード」のバージョンは、実装している場合に確認してください。

対象 OS	アダプタ	LANドライバ名	LANドライババージョン
Windows Server 2003 32-Bit	標準装備のネットワークアダプタ	e1q5132.sys	11.1.6.0
	Intel 社製 LAN ボード	e1e5132.sys e100b325.sys E1000325.sys	9.13.16.0 8.0.47.0 8.10.3.0
Windows Server 2003 64-Bit	標準装備のネットワークアダプタ	e1q51x64.sys	11.1.6.0
	Intel 社製 LAN ボード	e1e5132e.sys eFE5b32e.sys e1G5132e.sys	9.13.16.0 8.0.47.0 8.10.3.0
Windows Server 2008 32-Bit	標準装備のネットワークアダプタ	e1q6032.sys	11.1.6.0
	Intel 社製 LAN ボード	e1e6032.sys E1G60I32.sys	9.13.16.0 8.3.15.0
Windows Server 2008 64-Bit	標準装備のネットワークアダプタ	e1q60x64.sys	11.1.6.0
	Intel 社製 LAN ボード	e1e6032e.sys E1G6032E.sys	9.13.16.0 8.3.15.0
Windows Server 2008 R2	標準装備のネットワークアダプタ	e1q62x64.sys	11.0.103.0
	Intel 社製 LAN ボード	e1e6232e.sys	9.13.16.0

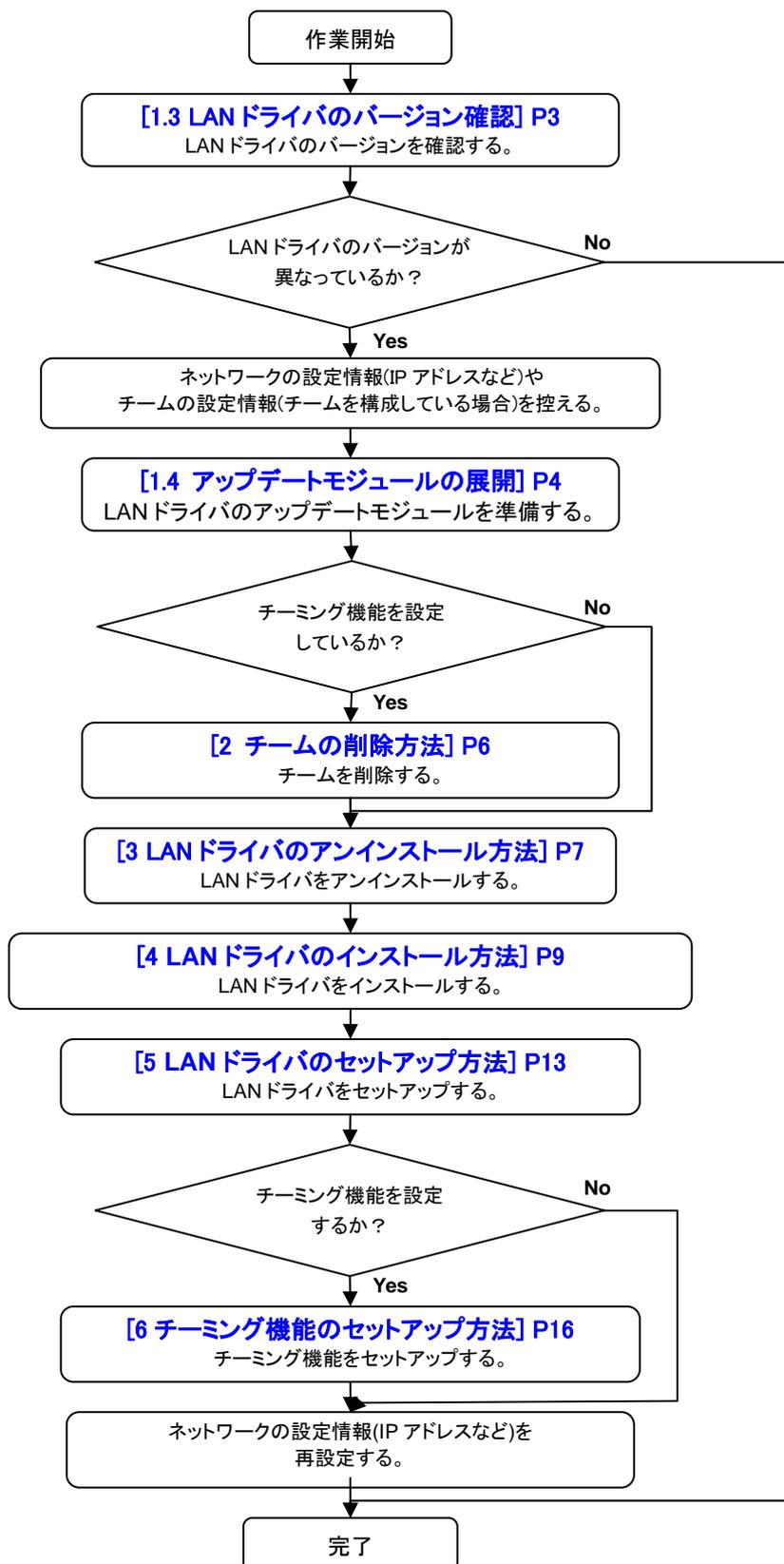
- 5) Intel® PROSet のバージョン確認のための画面を開きます。
- Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [プログラムの追加と削除]を起動します。
 - Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を起動します。
- リスト中に以下が存在していることを確認します。
- Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0**

1.4. アップデートモジュールの展開

LAN ドライバのアップデートモジュール (R148.EXE) は、自己展開形式のファイルです。システムドライブ直下に temp フォルダを作成し、その中に展開して使用してください。(例 C:¥temp)
また、作業完了後必ず削除してください。

1.5. LANドライバアップデートの流れ

本項では、LANドライバをアップデートする際の作業の流れについて説明します。以下の図を参照し、LANドライバをアップデートしてください。



2. チームの削除方法

本章では、チームの削除方法について説明します。以下の手順を参照し、チームを削除してください。



チームの削除は、必ず、下記の手順にしたがってください。
[デバイスマネージャ] に表示されるチームのアダプタを右クリックしても削除できませんが、この操作は行わないでください。



チームを削除すると、IP アドレスなどの設定情報も消去されます。
チームを削除する前に設定情報を控えておき、アップデート後に改めて設定してください。

- 1) [デバイスマネージャ]を起動します。
 - Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されますので、[デバイスマネージャ] を選択します。
 - Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。
- 2) [ネットワークアダプタ] 配下にあるチームアダプタをダブルクリックして [プロパティ] を開きます。
- 3) [設定] タブにある「**チームの削除**」をクリックします。
- 4) [チーム設定] 画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



複数のチームを作成している場合は、すべてのチームを削除してください。

- 5) システムを再起動してください。



チームを削除したときに、チームを構成していたネットワークアダプタの設定が初期設定状態に戻る場合があります。チーム削除後は、必ず設定を確認し、必要に応じて再設定してください。

以上でチームの削除は完了です。

引き続き「3 LANドライバのアンインストール方法」を参照し、LANドライバをアンインストールしてください。

3. LANドライバのアンインストール方法

本章では、LANドライバのアンインストール方法について説明します。「1.3 LANドライバのバージョン確認」において異なるLANドライバのバージョンがインストールされている場合は、以下の手順を参照し、アンインストールしてください。



チーム機能が設定されている場合、「2 チームの削除方法」にしたがってチームを削除してからLANドライバのアンインストールしてください。



LANドライバをアンインストールすると、IP アドレスなどの設定情報は消去されます。LAN ドライバをアンインストールする前に設定情報を控えておき、再インストール後に改めて設定してください。

1) プログラムをアンインストールするための画面を表示します。

- Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [プログラムの追加と削除]を起動します。
- Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [プログラムのアンインストール]または[プログラムと機能]を起動します。

2) リスト中に以下が存在していることを確認します。

Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx

※xx.xx.xx.xx は任意の数字

存在しない場合は、「4. LANドライバのインストール方法」に記載の手順に進んでください。

存在する場合は、手順 3)から 5)の手順にしたがってアンインストールしてください。



以下のように表示されている場合も、同様の手順でアンインストールしてください。

- ・ Intel(R) Pro Network Connections Drivers
 - ・ Intel(R) Network Connections Drivers
 - ・ Intel (R) Network Connections xx.xx.xx.xx
- ※xx.xx.xx.xx は任意の数字

3) [Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx] を選択して「アンインストールと変更」または「削除」をクリックします。

選択画面が表示される場合はすべての [ドライバ] と 表示されているソフトウェアを選択し「削除」をクリックします。

4) ポップアップが表示されたら「はい」をクリックしてください。自動的にアンインストールが開始されます。[Install Shield ウィザードを完了しました。] というポップアップ表示されたら、「完了」をクリックします。

5) リスト内から、「Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx」が存在しないことを確認した後、システムを再起動します。

以上で LAN ドライバのアンインストールは完了です。

引き続き「4 LAN ドライバのインストール方法」を参照し、LAN ドライバをインストールしてください。

4. LANドライバのインストール方法

本章では、インストール方法について説明します。以下の手順を参照し、LAN ドライバのインストールやインストール後の確認をしてください。

また、インストール後は、「5 LANドライバのセットアップ方法」に記載しているリンク速度とWOLの設定は、必ず行ってください。



重要

本書手順にしたがってLANドライバをアップデートした後に、Intel 社製増設 LAN ボードを実装する場合は、OS 環境や増設 LAN ボードの種類によって、LAN ドライバが自動で適用されません。

アップデート前に実装できる場合は、本章の手順を実施するより前に実装してください。

アップデート後に実装する場合は、「7.5 Intel社製増設LANボードの追加接続について」を参照し、LANドライバを適用してください。

4.1. LANドライバのインストール

本項では、インストール手順について説明します。以下の手順を参照し、LAN ドライバをインストールしてください。

- 1) 「1.4 アップデートモジュールの展開」で展開したフォルダに格納されている **[DxSetup.exe]** ファイルを、ダブルクリックし起動します。
 - Windows Server 2003 32-Bit
 <システムドライブ>: %temp%\R148\APPS\PROSETDX\Win32
 - Windows Server 2003 64-Bit
 <システムドライブ>: %temp%\R148\APPS\PROSETDX\Winx64
 - Windows Server 2008 32-Bit
 <システムドライブ>: %temp%\R148\APPS\PROSETDX\Vista32
 - Windows Server 2008 64-Bit
 <システムドライブ>: %temp%\R148\APPS\PROSETDX\Vistax64
 - Windows Server 2008 R2
 <システムドライブ>: %temp%\R148\APPS\PROSETDX\Win7_x64
- 2) [インテル(R) ネットワーク コネクション – InstallShield ウィザード] が表示されますので、「次へ」をクリックします。
- 3) 使用許諾契約を読み、同意するならば[使用許諾契約の条項に同意します] にチェックをいれ、「次へ」をクリックします。



使用許諾契約に同意しない場合は、インストールを継続できません。

4) 以下のチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、「次へ」をクリックします。

- ドライバ
- インテル(R) PROSet for Windows デバイス マネージャ
- Advanced Network Service

5) 「インストール」をクリックし、LANドライバのインストールを開始します。

6) [InstallShield ウィザードを完了しました] と表示されましたら、「完了」をクリックします。

7) システムを再起動します。

以上で LAN ドライバのインストールは完了です。

引き続き「4.2 LANボードのアダプタに "!" マークが付く場合の対処」に記載の手順を実施してください。

4.2. LANボードのアダプタに ”!” マークが付く場合の対処

本書手順にしたがってLANドライバをアップデートした場合、デバイスマネージャにて、Intel社製増設LANボードに”!”マークが表示され、使用できなくなることがあります。

本項の手順にしたがって、使用可能な状態に復旧してください。

1) [デバイスマネージャ]を起動します。

□ Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit

コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されるので、[デバイスマネージャ] を選択します。

□ Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2

コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。

2) 「ネットワーク アダプタ」のアダプタを確認します。

- ”!” マークが付いている場合

手順 3)から 6)を実施してから、「4.3. LANドライバのインストール確認」を実施します。

- ”!” マークが付いてない場合

手順 3)から 6)は実施せず、「4.3. LANドライバのインストール確認」を実施します。

以下は、”!” マークの表示例です。アダプタ名などは実際のものとは異なる場合があります。



3) システムをシャットダウンする。

4) シャットダウン後に本体から AC ケーブルを抜き、30 秒程度、放置します。

5) 本体に AC ケーブルを差し込み、電源を ON にします。

- 6) 手順 1)、2) を実施し、アダプタに “!” マークが付いていないことを確認します。
“!” マークが消えていない場合は、手順 3 から手順 5 を再度実施してください。
その際は、手順 4)の放置時間を 60 秒程度に延ばしてください。

以上で完了です。

引き続き「4.3 LANドライバのインストール確認」に記載の手順を実施してください。

4.3. LANドライバのインストール確認

本項では LANドライバのバージョン確認方法について説明します。

「1.3 LANドライバのバージョン確認」の手順にしたがって、LANドライバのバージョンを確認してください。手順 4) および 5) と同じバージョンであれば、本書の LANドライバが正しく適用されています。



LANドライバのインストール確認後に、「1.4. アップデートモジュールの展開」で展開したアップデートモジュールを削除してください。

引き続き「5 LANドライバのセットアップ方法」を参照し、LANドライバをセットアップしてください。

5. LANドライバのセットアップ方法

本章に記載しているリンク速度とWOLの設定は、下記を参照のうえ必ず行ってください。



Windows Server 2008 32-Bit / 64-Bit, Windows Server 2008 R2 で、IPアドレスやデフォルト ゲートウェイ (Default Gateway) を設定しようとする、意図した設定値が割り当てられない場合があります。その場合は、「7.6 IPアドレスやデフォルト ゲートウェイの設定について」を参照し、回避策を実施してください。

5.1. リンク速度の設定

本項では、リンク速度の設定方法について説明します。リンクネットワークアダプタの転送速度とデュプレックスモードを接続先スイッチングハブの設定値と同じ設定にする必要があります。以下の手順を参照し、転送速度とデュプレックスモードを設定してください。

- 1) [デバイスマネージャ]を起動します。
 - Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されますので、[デバイスマネージャ] を選択します。
 - Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。
- 2) [ネットワークアダプタ] を展開し、設定する LAN アダプタをダブルクリックします。
LAN アダプタのプロパティが表示されます。
- 3) [リンク速度] タブを選択し、[速度とデュプレックス] をスイッチングハブの設定値と同じ値に設定します。
- 4) プロパティの「OK」をクリックします。
- 5) システムを再起動します。

以上で完了です。

引き続き「5.2 WOLの設定」を参照し、必ずWOLを設定してください。

5.2. WOLの設定

本項では、WOL (Wake On LAN) の設定方法について説明します。OS 環境により設定する項目が異なりますので、環境を確認のうえ、以下の手順にしたがってアダプタを設定してください。



重要

下記の手順にしたがって WOL の設定を必ず行ってください。
設定しない場合 (初期設定) は、意図せずにシステムが起動してしまう場合があります。



重要

WOL 機能は、標準装備のネットワークアダプタのみサポートしています。増設の LAN ボードでは使用しないでください。

■ Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit / Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit の場合

1) [デバイスマネージャ]を起動します。

- Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されますので、[デバイスマネージャ] を選択します。
- Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit
コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。

2) [ネットワークアダプタ] を展開し、設定する LAN アダプタをダブルクリックします。

LAN アダプタのプロパティが表示されます。

3) [電力の管理] タブを選択し、[Wake On LAN] 内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
– “Wake On Directed Packet”	ON または OFF	OFF
– “Wake On Magic Packet”	ON	OFF
– “電源オフ状態からの Wake On Magic Packet”	ON	OFF
– “Wake on Link”	OFF	OFF



チェック

“Wake On Directed Packet”の機能については下記の通りです。

- ON :スリープ(または、スタンバイ)、および、休止状態から DirectedPacket(※1)でシステムの起動ができます。
- OFF :スリープ(または、スタンバイ)、および、休止状態から DirectedPacket でシステムの起動できません。

※1 イーサネットヘッダにアダプタのイーサネットアドレスを含むパケットまたは IP ヘッダにアダプタに割り当てられた IP アドレスを含むパケット。



- ・ [節電のオプション] 内の設定を変更する必要はありません。
- ・ 上記の設定は手動で設定し直さない限り、保持されます。

4) プロパティの「OK」をクリックします。

5) システムを再起動します。

■ Windows Server 2008 R2 の場合

1) [コントロールパネル]から [デバイスマネージャ] を起動します。

2) [ネットワークアダプタ] を展開し、設定する LAN アダプタをダブルクリックします。
LAN アダプタのプロパティが表示されます。

3) [電力の管理] タブを選択し、[Wake On LAN] 内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
－ “Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “電源オフ状態からの Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “Wake on Link”	OFF	OFF
－ “Wake on Pattern Match”	OFF	OFF



- ・ [節電のオプション]内の設定を変更する必要はありません。
- ・ 上記の設定は手動で設定し直さない限り、保持されます。

4) プロパティの「OK」をクリックします。

5) システムを再起動します。

6. チーミング機能のセットアップ方法

本章では、チーミング機能のセットアップ方法について説明します。チーミング機能を使用する場合は、以下の手順を参照し、チーミング機能をセットアップしてください。



チームの機能、その他注意事項については下記URLの[増設LAN ボード関連]をクリックして表示されるテクニカルガイドに記載していますので、必ず確認してください。

<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/category/spec.html>

- 1) [デバイスマネージャ]を起動します。
 - Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit
コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されますので、[デバイスマネージャ] を選択します。
 - Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit / Windows Server 2008 R2
コントロールパネルから [デバイスマネージャ] を選択します。
- 2) チームを構成するネットワークアダプタをダブルクリックします。
ネットワークアダプタのプロパティが表示されます。
- 3) [チーム化] タブを選択し、[このアダプタを他のアダプタとチーム化する] にチェックを入れ、「新規チーム」をクリックします。
- 4) チームの名前を入力後、「次へ」をクリックします。
- 5) チームに含めるアダプタをチェックし、「次へ」をクリックします。
- 6) チームタイプの選択で、設定するチームタイプを選択し、「次へ」をクリックします。



対応しているチームタイプは以下のとおりです。

- アダプタフォルトトレランス
- アダプティブロードバランシング
- 静的リンクアグリゲーション
- スイッチフォルトトレランス

7) 「完了」をクリックします。

チームのプロパティが表示されます。



Windows Server 2008 R2 の場合、標準装備のネットワークアダプタと Intel 社製増設 LAN ボードでチームを作成するときに、下記のメッセージが表示されますが、[OK] をクリックして引き続きチームのセットアップを行ってください。

"チーム内の 1 つ以上のアダプターが真の NDIS6.20 受信側スケールリングをサポートしません。チームの受信側スケールリングが無効になります。受信側スケールリングが無効にすると、チームのパフォーマンスに悪影響を与えます。"

8) チームのプロパティで[設定]タブを選択し、「チームの編集」をクリックします。

9) チーム内のアダプタに対し、プライマリ/セカンダリ設定を行う場合、以下の操作を行います。

- **プライマリ設定**

プライマリに設定するアダプタを選択し、「プライマリの設定」をクリックします。

- **セカンダリ設定**

セカンダリに設定するアダプタを選択し、「セカンダリの設定」をクリックします。プライマリ/セカンダリ設定を完了した後、[OK] をクリックし、画面を閉じます。



プライマリ/セカンダリ設定は、以下の手順で確認できます。

- 1) チームのアダプタのプロパティ内にある [設定] タブを表示します。
- 2) [チーム内のアダプタ] の各アダプタ名の末尾に(プライマリ)または、(セカンダリ)と表示されます。

10) [設定] タブ中の「スイッチのテスト」をクリックします。

[スイッチのテスト]画面が表示されます。

11) 「テストの実行」をクリックし、スイッチ設定のテストを行います。

実行した結果、問題なしのメッセージが表示されれば、テスト完了です。



[テストの実行] を行う前に、[設定]タブにてアダプタのステータスが”有効”または”スタンバイ”であることを確認してからテストを実行してください。

エラーが表示された場合、メッセージを参照し、接続しているスイッチの設定を変更してください。

12) システムを再起動します。

以上でチームの作成は完了です。

7. 注意事項

本章では、アップデートに関する注意事項を記載しています。

7.1. リモートデスクトップによる操作について

本ドキュメントに記載されている全ての操作は、必ず本体装置に接続したコンソールから 管理者権限のあるユーザ(Administrator など)でログオンし実施してください。

OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用した操作は、サポートしておりません。

7.2. WOLの初期設定について

LANドライバのインストール後、初期設定のまま使用するとシャットダウン状態の時に意図せずシステムが起動してしまう場合があります。

「5.2 WOLの設定」を参照し、WOLの設定を必ず行ってください。

7.3. チーミングのモード変更について

チーミングのモードを変更する場合、必ず「2. チームの削除方法」を参照し、一度チーミングを解除してから設定し直してください。チームアダプタのプロパティにある[チームの編集]のモード変更機能は使用しないでください。

7.4. LANボードのアダプタに "!" マークが付く場合の対処法について

LANドライバをアップデートする過程で、デバイスマネージャに表示される LAN ボードのアダプタに "!" マークが表示され、使用できなくなる場合があります。「4.2. LAN ボードのアダプタに " ! " マークが付く場合の対処」で復旧しますので、本書にしたがってアップデートを続けてください。

7.5. Intel社製増設LANボードの追加接続について

本書手順にしたがって LAN ドライバをアップデートした後に、Intel 社製増設 LAN ボードを実装する場合は、OS 環境や増設 LAN ボードの種類によって、LAN ドライバが自動で適用されません。

以下の①から③を確認し、条件が合致する場合の手順にしたがって増設 LAN ボードのドライバをインストールしてください。

①. Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit 環境で、かつ、N8104-125 / 125A を追加接続する場合

LAN ドライバが自動で適用されません。

「7.5.1. Windows Server 2008 32-Bit / 64-Bit 環境で N8104-125 / 125A を追加接続する場合」を参照し、LAN ドライバをインストールしてください。

②. Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit 環境で、かつ、Intel 社製増設 LAN ボードを追加接続する場合

LAN ドライバが自動で適用されません。

「7.5.2. Windows Server 2003 32-Bit / 64-Bit 環境で Intel 社製増設 LAN ボードを追加接続する場合」を参照し、LAN ドライバをインストールしてください。

③. ①または②以外の場合

LAN ドライバが自動で適用されます。

「1.3. LAN ドライバのバージョン確認」を参照し、正しいドライババージョンが適用されていることを確認してください。

7.5.1.Windows Server 2008 32-Bit / 64-Bit環境で N8104-125 / 125Aを追加接続する場合

N8104-125 / 125A が接続対象のモデルにおいて、LAN ドライバをアップデートした後に同ボードを実装する場合は、LAN ドライバが自動的に適用されません。

その場合は、同ボードを実装後に、本書の「1.5. LAN ドライバアップデートの流れ」にしたがって、再度、アップデートを実施してください。その際、「LAN ドライバのバージョンが異なっているか？」という分岐では、「Yes」の処理へ進んでください。



Windows Server 2008 32-Bit / Windows Server 2008 64-Bit の場合のみ、本節の手順を実施してください。

7.5.2.Windows Server 2003 32-Bit / 64-Bit環境でIntel社製増設LANボードを追加接続する場合

Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit の場合、LANドライバのアップデート後に、Intel 社製増設 LAN ボードを実装するとLANドライバが自動で適用されません。

以下の手順を参照し、LANドライバを適用してください。



本書にしたがってアップデートした環境で、Intel 社製増設 LAN ボードを追加接続するための手順を記載しています。



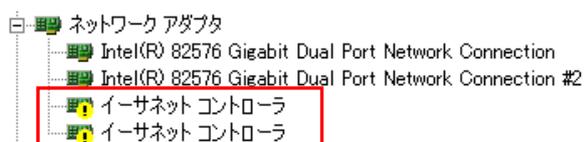
Windows Server 2003 32-Bit / Windows Server 2003 64-Bit の場合のみ、本節の手順を実施してください。

- 1) Intel 社製増設 LAN ボードを実装した状態で、システムを起動します。
- 2) 以下のポップアップが出ますので、「キャンセル」をクリックします。



追加した Intel 社製増設 LAN ボードのアダプタの数だけ表示されますので、すべて「キャンセル」してください。

- 3) 「1.4. アップデートモジュールの展開」を参照し、適用するドライバを準備します。
- 4) コントロールパネルから [管理ツール] を選択し、その後 [コンピューターの管理] を選択します。[コンピューターの管理] 画面が表示されますので、[デバイスマネージャ] を選択します。
[ネットワークアダプタ] 配下の Intel 社製増設 LAN ボードアダプタは、以下のように "!" マークが付いた状態で表示されます。



- 5) "!" マークが付いた状態の Intel 社製増設 LAN ボードアダプタを、ダブルクリックします。
ネットワークアダプタのプロパティが表示されます。

- 6) [ドライバ] タブを選択し、「**ドライバの更新**」をクリックします。
[ハードウェアの更新ウィザード] が表示されます。
- 7) [いいえ、今回は接続しません] を選択して、「**次へ**」をクリックします。
- 8) [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)] を選択し、「**次へ**」をクリックします。
- 9) [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア...] のチェックを外し、[次の場所を含める] にチェックを入れ、以下のパスを入力し、「**次へ**」をクリックします。
 - Windows Server 2003 32-Bit**
1000BASE NIC の場合
 <システムドライブ>: ¥temp¥R148¥pro1000¥win32¥ndis5x
100BASE NIC の場合
 <システムドライブ>: ¥temp¥ R148¥pro100¥win32¥ndis5x
 - Windows Server 2003 64-Bit**
1000BASE NIC の場合
 <システムドライブ>: ¥temp¥R148¥pro1000¥winx64¥ndis5x
100BASE NIC の場合
 <システムドライブ>: ¥temp¥ R148¥pro100¥winx64¥ndis5x
- 10) ドライバの検索が開始され、検索後にインストールが始まります。
しばらくすると、[ハードウェアの更新ウィザードの完了] 画面が表示されます。
- 11) 「**完了**」をクリックします。
- 12) システムを再起動します。
- 13) 「1.3. LAN ドライバのバージョン確認」を参照し、正しいドライバが適用されていることを確認します。

以上で完了です。

7.6. IPアドレスやデフォルト ゲートウェイの設定について

Windows Server 2008 32-Bit / 64-Bit, Windows Server 2008 R2 環境で、LAN ドライバをアップデートすると、下記の現象が発生する場合があります。その場合は、[文書番号: 2473489 の詳細 URL]のサイトに書かれた回避策を実施してください。

[現象]

Windows Server 2008 32-Bit / 64-Bit, Windows Server 2008 R2 で、IP アドレスやデフォルト ゲートウェイ (Default Gateway) を設定しようとする、意図した設定値が割り当てられない場合があります。

[文書番号: 2473489 の詳細 URL]

<http://support.microsoft.com/kb/2473489/ja>